

令和2年度 第1回 学校運営協議会 議事録

令和2年7月16日(木) 10:00~11:30

於：大阪府立守口東高等学校 校長室

書記：笹山 秋生

【出席者】

<委員>

寺本 毅 (守口市立八雲中学校 校長) 【会長】

竹内 章 (大阪成蹊大学 スポーツ&カルチャーセンター長) 【副会長】

栗本 太郎 (白鳩チルドレンセンター八雲中 園長)

小倉 庸敬 (榊淀川製作所 代表取締役)

竹中 美和 (本校PTA会長)

竹下 友梨 (株式会社ベネッセコーポレーション大阪支社)

<校長> 富永 誠

<事務局>

笹山 秋生 (首席)

【議事】

1 開会の挨拶

2 委員・事務局紹介

会長・副会長選出

会長：寺本委員

副会長：竹内委員

3 学校運営協議会実施要項

4 令和2年度 教科用図書について

5 事務局より

①令和2年度学校経営計画について…校長より説明

- ・様々な受験方式に対応できる学力の充実を図る
- ・国数英3教科での習熟度別少人数授業の展開
- ・遅刻数の減少
- ・スマートフォンなどの適切な使用の指導
- ・部活動参加率の増加→加入の呼びかけ、校内ディスプレイによる活動紹介

②「脳力開花プロジェクト」について…校長より説明

- ・学習環境の改善
- ・解る・創る・伝える授業を実践
- ・希望する進路の実現

③新型コロナウイルス対策について…校長より説明

行事予定の変更

- ・分散登校 6/1~12
- ・通常授業と部活動の再開 6/15~

- ・行事の変更
 (体育祭、文化祭、遠足、修学旅行など) 行事の中止、延期
 年数回の土曜授業の実施
 夏休み、冬休みの短縮
 オンライン授業…首席より説明
- ・ Google Classroom の活用
- ・ データ量の問題などあるが、現在調整中

6 協議

○学校経営計画について

- ・ どのような進学先をめざしているのかを明確に示した方が良い。
- ・ アルバイトの指導はどのようになっているのか。部活動の加入率とアルバイトは反比例する。なかなか両立できななので、この辺りも考えないと部活の加入率は増えない。また、教員の部活動の指導と教材研究の時間のバランスについてのサポートも必要。
- ・ アルバイトの届け出は必要ないのではないか。受け取る側の業務も増える。
- ・ 部活について、中学の時の方が遅くまでしていた。教員も大変だと思った。
- ・ 遅刻が多い理由について。朝の登校時間が早いのではないかと思う。なぜ、朝この時間でないといけないのか疑問がある。登校時間が10時とかに変更できないのか。また、必要に応じてオンライン授業などを用いてもいいのではないか。
- ・ フレックスタイムやテレワークの活用で教員の勤務も時代に合わせて変化していくのではないか。それに応じて、学校や授業の形態も変化する。それで、先生方の負担も減るといいと思う。
- ・ 部活の顧問は、外部に委託できないのか。先生の熱意に頼ると負担が大きくなる。

○脳力開花プロジェクトについて

- ・ 就職者の早期離職について、本人の責任と思われてしまうが、受け入れる側の責任もあるのではないか。そのあたりも考えるべきと思う。
- ・ 早期離職について、卒業生ともコンタクトをとる機会を持ってもらおうと、悩みを打ち明けることができるので、よいのではないか。

○今年度の入試の状況について

- ・ 普通科に進学する子は、進学か就職を絞り切れていない生徒や、その先の上級学校を考えている生徒が多い。
- ・ 学校の選択肢が多くて選択することが難しい。
- ・ 校則が厳しすぎるのではないか。
- ・ 寄り添う指導をしているのであれば、それをアピールポイントにすればいいのではないか。

7 事務連絡

(省略)